

# 【高等学校「情報Ⅰ」コミュニケーションと情報デザイン】①

## 【長崎県立大崎高等学校】

### 学習指導と学習評価の工夫・改善点の概要

- ・技能の習熟レベルに差があるため、グループ活動することで、役割分担をして互いの苦手分野を補足しながら活動できる。
- ・生徒に相互評価させることで、改善点を考えることができる。
- ・協働作業で互いの意見を交換しあい、より深く考えることができる。
- ・タブレットの活用スキルの差やネットワークの混線等によりスムーズに操作できない場面があったので、事前準備や工夫をさらに検討したい。

### 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインの考え方や方法を理解し表現する技能を身につけている。	お互いの情報モラルポスターを評価し、改善点を指摘することができる。	情報モラルをきちんと理解し、ポスターの作成を通して、他者へ効果的に伝えようとするとともに、自分自身の生活も見つめなおそうとしている。

### 主体的・対話的で深い学び、探究的な学び、協働的な学び

グループ作成、テーマの検討、  
ポスター作成の説明

Teamsを活用し、Wordで  
ポスターを共同編集

ポスター制作

ポスター評価会

- ・情報モラルについてのポスターを制作することを伝える。
- ・過去のポスターなどを参考として例示し、ピクトグラムなども活用しながら、アイキャッチャーやキャッチコピーをしっかりと考えさせる。



- ・Teamsの使用について確認する。
- ・役割分担を行い、情報収集や作業などそれぞれがやるべきこと決めて活動させる。
- ・同時進行で企画書を書かせることで、ポイントを明確にさせる。



- ・効果的イラストや言葉の使い方、またデザインについても相談しながら、検討させる。



- ・匿名状況をつくり、ポスターの内容について相互評価させる。

# 【高等学校「情報Ⅰ」コミュニケーションと情報デザイン】②

①



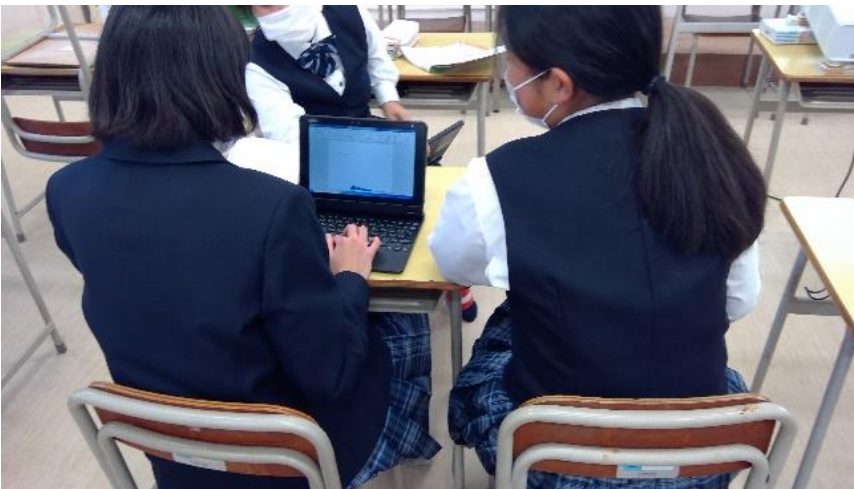
【1限目】○グループ討議  
○各自で情報収集

②



【2限目】○共同編集で情報を整理する  
○試行錯誤しながら、互いの意見を出し合う

③



【3限目】○役割分担し、完成へむけて協議・作業

④



【4限目】  
○完成した作品を鑑賞・評価

【活用したソフトや機能】 一人一台端末・Microsoft Teams・Microsoft Word

- 共同作業を軸としたポスターの制作活動であり、小グループで行っていることで狙い通りの展開が実現できている。
- アナログでラフを作って、デジタルで分業する方法を取り入れることで、さらに作業効率が上がる。
- 記録に残す評価としては、相互評価は参考程度にとどめることに留意したい。